



2018-19年度ガバナー  
村井 総一郎



2018-19年度R.I.テーマ  
R.I.会長 バリー・ラシン

# Weekly report

例会日 第一・第三木曜 12:20-13:30  
事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄1-22-16ミナミ栄ビル402  
例会場 TEL 052-253-7821/FAX 052-253-7820  
ホテルナゴヤキャッスルホテル TEL 052-521-2121  
〒451-8551 名古屋市中区樋の口町3番19号



## 第58回例会

2019年4月18日(木)

司会進行 鈴木達央 会場運営委員  
「日も風も星も」唱和

会長挨拶

奥村 与幸 会長



将来、我がクラブの会長を務められるのかもしれませんが。

【本日の結論】

①ロータリーソングの起源を調べた結果として、「ロータリーソングを唄う目的は、会員が童心を回復し、友情を深める(回復)すること」→必ずしも「奉仕の理想」を始めとするロータリーソングを唄わなくても良いかも。→河村さんにソングリーダーをお願いして「もののけ姫」の唄でも良いかもしれません。続く。

### 出席報告

水野紀孝 出席委員

	会員数	出席数	出席率
当日(4/18)	42	27	64.3%
前回(4/4)	43	29	67.4%
	会員数	修正出席数	修正出席率
前回(4/4)	43	43	100.0%

### ニコボックス報告

水野紀孝 出席委員

石橋ロータリーとの交流会お世話になりました。

河村さんの卓話を楽しみにしています。

遠山堯郎

卓話で話しますが、

一般社団法人みらせんよろしくお願ひします。

河村直樹

河村ちゃん勉強させて頂きます。

牧野敬充

水野くんの笑顔に癒されました。

鈴木拓将

第58回例会を祝して

浅野信 出口茂 不破直行 堀場和孝 加藤謙一

河合秀紀 水野紀孝 永田聡子 奥村与幸

佐野洋一郎 鈴木達央 高木俊郎 田中吉彦

### 青少年奉仕委員会より報告 大谷まさみ 青少年奉仕委員長

4/29(月)カルチャーフェア2019の案内を配布しております。今後お子様の留学を検討している方は各国の情報が知れるそうなので、是非ご参加ください。

### RCC(NGUラブリッジ名古屋)より報告 担当：堀田崇 会員

前回例会時に資料を配布しております。先週リーグが開幕し、今週末に今シーズン本開幕戦を行います。4/21(日)15時キックオフ@港サッカー場です。女子サッカーは非常に浮き沈みが激しいのですが、我々は必ず2部に昇格し、近い将来1部に上がりたいと思っております。当日は9時半～アカデミーという15歳以下の選手の試合をしており、12時～少女対象のクリニックを行っております。お時間ある方は是非お越し頂ければと思います。

### 幹事報告

鈴木拓将 幹事

●4/6(土)台北石橋RC様との懇談会にご参加頂いた方、ありがとうございます。

●4/12(金)分区ゴルフ大会、夜の懇親会にご参加頂いた方、ありがとうございます。

●4/14(日)地区研修協議会へご出席頂いた方、ありがとうございました。

●4/20(土)スペシャルオリンピックス第9回ジョギングフェスティバルが開催されます。ボランティア参加予定の方、よろしくお願い致します。

●4/23(火)18:30～@楽(錦3丁目)にて次年度予定者会(役員/理事/委員長)の開催を予定しております。参加予定の方、よろしくお願い致します。

●次回例会5/9(木)12:10～@ホテルナゴヤキャッスル1階「シャンボールの間」例会前に定例理事会、例会後に本次年度CA、その後次年度予定者理事会を開催致します。また、次々回例会会場は名古屋東急ホテルです。□

●本日、例会前に次年度予定者理事会を開催いたしました。例会後にCAを開催致します。

●事務局のGWと有給休暇について、GWはカレンダーどおりで、有給休暇は4/22(月)終日、5/16(木)～17(金)終日です。

●長谷川裕一会員が社業多忙の為、退会されました。

皆さん、こんにちは。

しばらく、硬い話が続いたので、今日は少し柔らかいお話をします。今日のロータリーのお話は、最初からこの方に登場して頂きます。その方は、この方。河村 直樹さんです。(クリスマス会の写真)河村さんと言えば、昨年のクリスマス会での彼の美声に聞き惚れた方も多くいたのでは、と思います。「天は二物を与えず」と言いますが、天は、彼に優れた頭脳と美声を与えました。二物と止めてくれたのが、私のような凡人には救いでした。

そこで、今日のお話は、「ロータリーソング」について、です。

私は、ロータリークラブに入会してから今日まで、「何故、歌を唄うのだろうか?」との疑問を持っていました。そこで、ロータリーソングの起源について調べたことを今日はお話します。そもそも「何故、歌を唄う必要があったのか?」を調べると、ロータリーの起源である、シカゴロータリークラブが発足した当時にまで遡ることとなります。

これは、以前お話したことですが、Paul.P.Harris氏が仲間3人と語ってロータリークラブを発足させて1905年当時は、「会員同士の親睦と物質的相互扶助」を目的とした組織でした。その後、1908年にシカゴロータリークラブにArthur.F.Sheldon氏が入会し、当時は誰も考えなかった「奉仕の理念」を提唱します。これも以前、お話をしました。その結果「シカゴロータリークラブで、何が起こったのか?」それまでは、言葉を恐れずに言えば「皆で仲良くして、一緒に儲けようね」ということを、目的にした組織に「世のため、人のための奉仕」と言う、全く異質なことが組織の目的に加わったのですから、クラブは混乱します。会員同士の親睦は崩壊し、当然のことながら出席率は低下します。この状況をみて、クラブの初代親睦委員長であったDr.William.R.Neff氏(写真)はこの状態があと1ヵ月続けば、このクラブも終わりだ」と考えました。この方はクラブのことを真摯に考える立派な方ですね。我がクラブで言えば、この方。初代親睦委員長であり、永遠のソングリーダーである(高木俊郎さんの写真)高木 俊郎さんのような方なのでしょう。そこで、Neff氏は、親睦委員長として、「なんとかこの状況を回復する手はないものか?」と考えた結果、会員であるHarry.Ruggles氏(写真)に、ポール・ハリス氏やフレドリック・F・シェルドン氏が奉仕の話をして、クラブの雰囲気が悪くなったら、「歌を唄って欲しい」とお願いをします。突然、「歌を唄え」とは、なかなか無茶な頼みごとだと思いますが、Ruggles氏もクラブのために思う gentleman だったのだと思います。我がクラブで言えば、ムードメーカーであり、現親睦委員長である、この方(樋口さんの写真)のような方だったのでしょう。Ruggles氏は、この要請に応じて奉仕の話でクラブの雰囲気が冷たくなると、「諸君、歌を唄おう」と言って自ら歌い始め、皆をリードしたのです。これが、ロータリーソングの慣例の始まりでした。初期のロータリアンは、歌を唄うことにより童心と友情を取り戻し、奉仕の議論から開放され、心を通わせることに成功しました。

後日談になりますが、この功績を認められたためか、Ruggles氏はポール・ハリス氏の後任として、シカゴロータリークラブの会長を務めることとなりました。だとすると、この方(高木俊郎さん)やこの方(樋口さん)も、

次年度地区出向者へ委嘱状贈呈

地区職業奉仕委員会:高木勝  
地区国際奉仕委員会:鈴木拓将



卓話「選挙の公開討論会について」

河村直樹 会員

こんにちは！河村です。よろしくお願ひ致します。  
本業とは異なりますが、「一般社団法人みらせん」を先月設立し、選挙の公開討論会の支援を行っております。本日はその話をしたいと思います。

まず、経緯としてはJCに所属していた際、2015年に日本JCの主権者教育と公開討論会を主な活動とする日本の未来選択委員会の委員長に委嘱することになり、2014年の秋に解散総選挙の公開討論会をやってみようという指示を受けて始めたことがきっかけです。7か所の衆院選でコーディネーターという立場で公開討論会をさせていただきました。

公開討論会ではとにかく公平に行うことが大事だと教えていただきました。おかげさまで初めての公開討論会にもかかわらず、主催をしていた京都JCからは「やはりキャリアがある方は違いますね。」とお褒めの言葉を頂戴しました。初めてだとは言えませんが、「これはできるな。」と思い活動がスタートしました。JCに所属されていた方はご存知の方もいると思いますが、長野の森本氏という武闘派の方からとにかく気合でやれと言われ、600程の青年会議所に2か月間ほど毎日ひたすら「公開討論会を行ってほしい。」と電話をかけ続け、「コーディネーターがいない。」と言われれば、「伺います。」と言って副委員長を行かせたりしておりました。その年は192回の公開討論会を行うことができ、おそらく過去最多の記録となりました。

当社「みらせん」の由来は、未来の「みら」、選択の「せん」の文字からきております。現在は全国各地で公開討論会を行わせていただいております。過去には後輩から頼まれて安請け合いをしまい宿泊交通費で7万円ほど自腹を切るなど、趣味の延長という形で行ってまいりました。しかし、周りの方から「一人で背負うのはよくない、もっと協力してもらえようなものにしたら」と言っていただき、時間はかかりましたが法人化いたしました。目的としては政策本位の政治選択とそれを支える主権者教育です。具体的には公開討論会の動画をネット上で閲覧できるようにしており、支援者でない方たちに考えや訴えの違いを知ってもらう機会を与えることと、小・中学生向けの政治教育をしております。最近では中学3年生の3学期くらいに社会の授業で選挙の話をしなければならないそうで、しかし、先生達は親からの指摘に怯えて選挙の話がしづらい状況にあるそうです。そのため、外部の人間が総合学習の枠で話すと先生達に非常に喜ばれることもあり、そのような形で主権者教育を行っております。2年前には堀田会員が支援するNGUラブリッジ名古屋の小学生にプログラムを組んで行わせていただいたこともございました。

豊橋JCの村井ガバナーのご子息である村井祐一郎理事長に会いました。法人化にできたのはこの方のおかげでもあります。豊橋JCが事業計画に公開討論会を入れ忘れてしまい、歴代理事長から「そんなわけにはいかないから法人化が近いのであれば、その法人主催として行ってほしい」と言われ、当日の3月26日に法人化とし、主催をさせていただきました。

公開討論会をすることにより、候補予定者にとってのメリットは支持者でない方へ意見が発信できることです。勝敗が明らかになっているような選挙の場合は、やる意味がないと言われる方も中にはいらっしゃいますが、基本的には票につながるかもしれないと非常に前向きに捉えていただいております。

また、我々としては、地域の有権者にとってのメリットが大きいのではないかと考えます。選挙は未来のことである為、テストとは違って正しい答えが最初から用意されているわけではありません。政策を知り、皆で知恵を出し合い、できるだけいいと思うものを多数のコンセンサスの元に選択することが民主主義の本来のポイントです。しかし、現状は政策で選ばれることがほとんどありません。とくに地方で行われる市長選挙や都知事選挙では、有権者である地域の方が争点や地域の問題を理解していません。公開討論会では、事前にその地域でアンケートを実施し、できるだけ多くの意見をもらい、今関心のあることや、逆にこれだけは知っておいてほしいことをテーマにして頂きます。そうすることによって有権者が自分たちの町に向き合うことができる機会となります。何よりチラシなどではなく討論の中での生の声を見聞きできることによって、いいことばかりではなく、よりリアルな意見を知ることができます。



以前、医療費をいついつまでに無料化にすべきという話で、それは「国がすべきことだ」、「地域ですべきことだ」という意見で対立しました。最終的に予算や実現性などについて具体的な話になったときに、現実的には国の政策として実現するように地域が訴えることであるという結論に至りました。こうして具体的に話し合うことによって票が動いてくるのだと思います。実際には上からオーディエンスの反応を見ているとよく分かります。記者の方からコーディネーターへ、「『今日の話聞いていていいことを言っているけど現実的でないから、やはりこっちに投票する』という意見があります。やはり結果が変わってきますよね。」と言われることがあります。こういった点で地域の方たちには非常に大きなメリットがあると考えます。

公開討論会では必ず時間配分を平等にして公平に行っております。また、コーディネーターは中立でなければなりません。コーディネーターの意見や考えでなく、候補予定者の意見や考えを聞く場です。その為、学者や知識人になると投げる質問に偏りができてしまう可能性がある為、不向きではないかと考えます。私は機械的に行う為、あるところでは「もっと引き出してほしい。」と言われたことがあります。しかし、引き出しがある方にとっては良いが、うまく引き出されなかった方にとっては不公平だと思われる可能性があります。我々ではできるだけ機械的に捌き中立な立場であることに重きをおいております。

実は今、色んな問題を抱えております。

①やるどころがJCしかない。

人とお金がある団体でない現実的に難しいという点があります。学生団体がやろうとしたけど、予算的に厳しいという壁にぶつかってしまいます。

②コーディネーターができる人がほとんどいない。

難しいのではないかとイメージを持たれやすいのが現状です。また学者などを呼ぶと予算が大きいかかかってしまいます。

③集客上の問題点

いいことをしても広告の打ち出しが下手である為、人が集まりません。人が集まらないと前回やってみた人が来ないから、自分で集会をやった方がまだいいとなってしまいます。

公開討論会の効果としては、有権者の方から「名簿を見て名前前で選ぶことかしておらず、政策についてそもそも考えたことがなかった。初めて参加してみてよかった。」「投票先を変えました。」という嬉しいお声を頂戴します。そして、立候補予定者からは苦労話や、「やっ公開討論会が実現した。ありがたう。」と言われました。また、設営に関わった方々は設営するにあたり、地域の問題点や選挙について事前に学びます。その為、「すごく勉強になった。」「次回は必ず選挙に行く。」というお声を頂戴しました。

今後についてですが、全国的に当たり前に行われるようにしたいと考えております。このように活動について話していくことも重要だと思います。また、政治家も当選しないことには始まらないわけで、その為に投票率の高い絶対的に票数が多いところ(室外人口が多い、高齢層)にうける政策を打ちます。それは結局未来への付け回しになってしまうと思う為、根本的に変えていくためには、こういう運動を通して若年層を巻き込んで投票率アップを狙いたいと考えております。また、当社の今後についてですが、「みらいく」というプログラムが大変好評でリポーターがでるほどです。小・中学生へ教えることに興味を持つ大学生が多いのではないかと考えており、それをうまく仕組化して若年層への浸透をすすめていきたいと考えております。また、銀行口座開設が出来た際には、皆様への協賛もお願いしたく思っております。予算がなくて断念しているところの支援金を目的としております。是非その際にはご賛同、ご協力頂ければと思います。

次回例会【第60回通常例会】

日 時： 5月23日(木) 12時10分～13時30分  
(12時10分食事開始、12時30分点鐘)

会 場： 名古屋東急ホテル4階「舞の間」